



令和4年1月27日
第67号

さくほ

2022 ①

議会だより



川久保拝賀式と獅子舞

発行：佐久穂町議会
議長：石井 正行
編集：議会広報編集調査特別委員会
〒384-0697
長野県南佐久郡
佐久穂町大字高野町569
TEL.0267-86-2556
印刷：キクハラインク有限会社

さくほ議会
Facebookもチェック

さくほ議会 検索



12月定例会

町長招集あいさつ…………… P 2

一般会計補正予算…………… P 3

議会改革特別委員会報告

議会改革特別委員会報告その3 …… P 10・11

一般質問 9名

荒廃農地・遊休農地の現状や推移を

どう受け止めているのか

来年度予算の重点施策は 他…………… P 4～9

一般会計補正予算

主な歳入

(国) 新型コロナウイルスワクチン接種 実施事業負担金及び補助金	1118万円
子育て世帯給付金のための 国庫補助金	4886万円
(国) 社会資本整備総合交付金	1391万円
他	

主な歳出

新型コロナウイルスワクチン予防接種事業	1132万円
子育て世帯への臨時特別給付金 (先行実施 現金5万円支給分)	4886万円
上区農業集落排水事業南環負担金	418万円
大日向川原地区上下水道事業負担金	3000万円
補助橋梁維持改良事業	2252万円
街灯管理経費	1061万円
旧八千穂庁舎売却のための測量設計等委託料	583万円
グランドデザイン作成委託料 (P12を参照)	550万円
他	

佐久穂町ふるさと遺産収蔵館「むかしたんけん館」ができます

佐久穂町ふるさと遺産収蔵館の愛称が、「むかしたんけん館」(略称「むかたん」)に決定しました。

可決 佐久穂町ふるさと遺産収蔵館条例(設置)

第1条 町内にある学術上貴重な資料及び文献史料のほか、後世に継承していくもの(以下「ふるさと遺産」という。)を集約し、これを介して生涯教育の普及と異世代間の地域コミュニティづくりに資するため、ふるさと遺産収蔵館を設置する。(以下略)

教えて！
しらがばちゃん

「条例ってなに？」



簡単に言うと都道府県や市町村が決める法のことね。

だから、議会に提出された上で、可決されなければ制定されないものなの。

条例は日本国憲法や国の定める法律を超えることはダメだけど、地域限定の法を定めることができるわ。さらに法律に反しない限りで権利の制限をすることもできるの。

京都府の景観条例や、香川県のネット・ゲーム依存症対策条例などはいいい例ね。

実は、都道府県や市町村は、条例が定まっていなくて活動することもできないのよ。例えば今回の佐久穂町ふるさと遺産収蔵館条例のように、収蔵館を運営するにあたって条例の制定が必要なの。この条例が可決されて初めて佐久穂町は収蔵館の運営を正式にできるようになるのよ。

条例は難しいものだけど、なくてはならないものだということね。

令和3年12月 第10回(12月2日～12月16日)

12月定例議会

町長招集
あいさつ **ピックアップ**

●行政の動き

道の駅のサウンディング調査(対話型市場調査)の説明会を実施し、町内外4社の参加がありました。また、南佐久の数町村から農産物販売等の出店希望がありました。

アウトドア用品の総合メーカー株式会社モンベルと7項目の包括協定を締結します(12月10日)。これにより町の観光振興や道の駅への参加・出店等が期待されます。

ブルーンプレミアムオータムキュート「紫稀」の販売が新宿高野本店他で始まり、ふるさと納税返礼品としても扱われています。

佐久平環境衛生組合衛生センターの老朽化に伴い、南佐久環境衛生組合南佐久浄化センター内に、し尿処理施設の増設方針を決定しました。

●町内外の動き

町では新型コロナウイルスワクチンの集団接種等に取り組み11月28日現在、2回目の接種を終えた方は8859人(対象者の約9割)に達しました。

12月1日より「がんばろう佐久穂応援チケット」の販売と給付が始まり、初日だけで1365人約2700万円の購入がありました。

「応援チケット」は、非課税世帯などへの生活支援分として一人一冊の無償給付を行います。灯油等の高騰に対する支援策でもありますのでご活用ください。

今年行われた国政選挙で、この選挙区から3人もの国会議員が選出されました。地元にとって大変心強いことです。

大日向小学校に中学校が新設されます。児童生徒数の増加を想定し、町道などの改良整備を進めます。



令和3年 第9回 臨時議会(11月17日)

佐久穂町旧佐久庁舎南棟解体撤去・外構工事、北棟改修工事請負契約が締結されました。

請 負 金 額

130,680,000 円



佐久南庁舎解体

再生可能エネルギーに 対する町の考えは

高見澤 春野



町長 温室効果ガスの排出がなく、エネルギー安全保障にも寄与する有望かつ多様で重要な国産エネルギー源です。

再生可能エネルギー対策

問 再生可能エネルギーに対しての町の考えは。

が重要であると考えています。
太陽光発電設備設置に関して

町長 太陽光などの再生可能エネルギーは温室効果ガスを排出せず、エネルギー安全保障にも寄与できる有望かつ多様で重要な低炭素の国産エネルギー源です。適切に環境への配慮が講じられ、地域との共生を図ること

問 町内に太陽光発電設備が増えている。景観・環境保全の観点で条例や規則の基準を見直す必要があるのでは。

町長 町は環境保全条例施行規則、環境保全基準、設置及び管理に関する指導要綱を整備して

います。特に指導要綱は本年11月から施行し、対象設備を令和4年1月から発電出力10kw以上の設備を対象としました。

問 住宅に設置する太陽光パネルや蓄電池に対する県の補助金に上乗せしてエネルギーの自給自足の促進を考えては。

町長 現時点で補助金の上乗せは考えていません。以前に比べ設置単価が安価になっているので設置費補助は近隣市町村の動向を注視していきたいと考えています。

問 町内の林地、農地、傾斜地、特別警戒区域等への設置の把握をし、マップを作って防災対策に活かしては。

町長 資源エネルギー庁のホームページには再生可能エネルギー発電事業計画の認定情報が町内20kw以上の設備について公表されていますのでマップ作成は

考えていません。

問 平林地区に計画されている施設への町の関与と対応は。

町長 地元の皆様への説明会を実施し御了解を得て欲しいとお願いました。また、雨水処理については対策を雨水水利組合と管理している自治体の了解を取って欲しいこともお願いしました。

小水力発電計画

問 八千穂高原で計画されている小水力発電計画の進捗状況と安定した経営の見直しはどうか。

町長 8月18日に安全祈願祭を行い、10月11日の管理つり場営業終了後排水し取水口の工事に着手しています。令和5年春先に本格稼働の見込みです。自然相手の発電のため自然災害が脅威となりますが、現状安定した経営が見込めると考えています。



水抜きをした八千穂レイク

食育推進計画 食に関する 体験の充実を

島崎 規子



教育長 学校教育において「学んだ事を各家庭で実践してみよう」を一番大事にしています。

食育推進計画の進捗と今後は

本年4月よりの第三次食育推進計画がスタートしています。一次・二次食育推進計画による成果と課題。それを踏まえて策定した三次計画の主な取り組み内容について

問 一次・二次食育推進計画の進捗により見えてきた効果や課題は何か。

町長 食育推進計画が策定されたことにより関係団体の皆さまにもさらなるご協力を賜り、健康増進・病気予防での「食の事業」がより連携し、推進することができたと感じております。

健康福祉課長 第一次の5つの目標を踏襲して、第二次食育推進計画も推進して参りました。塩分摂取量や中学生における朝食を毎日食べる割合が改善された一方、「食事のバランス」のイメージがしづらい・糖分摂取量が大きいなどを課題として重視したところで

問 第三次食育推進計画の方向性と主な取り組みは。

町長 これまでの計画を継承しつつも、現在の町の健康課題である糖尿病・腎症についても食育からのアプローチを掲げたほか、一部内容も変更して取り組むこととしております。



佐久穂中学校地域交流

に限らず多くの町民の皆さんに観ていただく機会をお願いしたいのご意見をいただいた。町としての方向性は。

教育長 教育的に非常に価値のある事と考えますので、検討させて頂きま

町長 教育長答弁の通り検討させて頂きます。

健康福祉課長 新型コロナウイルス感染症の影響により一次予防事業が十分にできないなかで、それぞれの目標とも関連した効果が期待されることも視野に早期の位置づけを考えています。

問 目標5の「食に関する体験」の捉え方は。

町長 調理を経験すること。地元食材を知り触れること。地域の食文化に触れること。食の無駄について考えること。などに繋がるものと考えています。

教育長 学習指導要領に則り事業を進めているところですが、「学んだ事を各家庭で実践してみよう」を一番大事にしているところです。

問 家庭での実践というところで、今JAでも食農教育の一環で「100年先を見据えた食育活動のドキュメンタリー映画『弁当の日』」の上映を推進しています。視聴した方々からもぜひ佐久穂でも上映会をして欲しい。子育て中の保護者に限らず多くの町民の皆さんに観ていただく機会をお願いしたいのご意見をいただいた。町としての方向性は。

十石峠の早期開通とトンネル化 について

問 一昨年の台風19号被災以来通行止め

のままとなっている国道299号線十石峠通行止め解消の見通しは。



国道299号十石峠通行止め

町長 佐久穂町側は通行できますが、県境から上野村方面が通行止めとなっています。両町村は、平成29年からトンネル整備促進期成同盟会を設立し、国や県への働きかけを強めております。

建設課長 上野村からの情報では、迂回路の復旧が見込まれ、令和4年4月には通行できる可能性が高いということです。

総合計画の提示時期は

問 今年度は総合計画前期の折り返しにあたり、どのように評価し総括するのか。前期には概要版は作成されなかったが作成するのか。SDGsをどのように位置づけるのか。女性活躍といった今年度は女性管理職が配置されなかった。女性管理職の配置をどのように考えているのか。

町長 後期基本計画は、前期の達成状況や社会情勢の変化等を踏まえて見直し、現在作成作業を行なっているところです。

十石峠通行止め解消の見通しは

竹内 達朗



町長 来春（令和4年）からの開通を見込んでいます。

女性の視点から行政サービスを提供することも非常に重要であり、積極的に登用していきたいと考えています。

総合政策課長 概要版を作成し、住民へ配布する方向で進めています。SDGsの17の目標達成に結びつく施策について、21の施策ごとにマークをつける予定で進めています。

行政連絡員の役割について

問 佐久穂町には58の区がある。一つの区に74世帯という割合になり、周辺の市町村と比較して非常に小規模の区が多い実態がある。整理統合の必要性を考えているか。区ごとに規約を定めているのか実態を把握しているか。また、近隣の市や町では区長の名簿が広報紙等を通じて公開されているところもあるが区長名を公開にする考えはないか。認可地縁団体についての広報が不足していると考ええるがもっと説明の機会を増やすべきではないか。

町長 区の整理統合は、町が主導して行う施策とは考えていません。区で統合できるところは手を挙げていただき、支援はしっかり行っていくと考えています。

総務課長 各区の規約については、合併後の補助金の検討の際に調査した経緯はあります。区長名簿の公開については、区長会議等に諮っていききたいと考えています。認可地縁団体のことは、区長会議等で情報提供をおこなっていききたいと考えています。

ドローン活用 運営については

高見澤 利博



町長 町独自の体制を組むのは今の段階では難しいかと考えます。

問 ドローンの運用体制の確立は。

町長 当町での、ドローンの利用実績は令和元年東日本台風における被害状況の確認がありま
すが、今後も幅広い分野での活用が考えられます。

望ましいと考えます。
これまでの大規模な山林火災や台風災害の経験から、国・県・市町村間の連携はもとよりサイ
ビス事業者との連携を進めてい
ます。

総合政策課長 町では、災害時

を想定し、連携協定を小海町や、
ヤマト運輸株式会社、株式会社
エフエム佐久平、南佐久北部森
林組合と締結しておりますが、

特に森林組合においては、森林
資源の調査や被災状況の確認の
ためにすでにドローンが導入さ
れ活用されています。

問 ヤングケアラー対策は。

町長 子どもの環境に寄り添う
ことが非常に大切であると認識
しております。現在町の支援体
制としましては、児童相談所、
学校、保育園、民生児童委員、
保健師、包括支援センター等の
関係部署が連携して生活環境に
も触れた支援を心がけておりま
す。又フライバシーの問題もあ
りデリケートな対応をしてまい
ります。

問 通学路の安全対策は。

町長 千葉県八街市にお
いて発生した児童5名が死傷し
た事故を受けて文部科学省、国
土交通省、警視庁の指導の下、
通学路の点検を行い危険箇所と
感じ箇所20か所確認。すでに



千曲病院入り口交差点

問 医療的ケア児支援法の取り
組みは。

町長 医療的ケア児及びその家
族に対する法律の施行に当り、
佐久圏域市町村が共同で設置す
る佐久広域連合障害者相談支援
センターに、令和3年4月1日
から医療的ケア児コーディネー

ター1名を新たに設置しており
ます。医療的ケア児とその家族
が、安心して地域で生活できる
よう、医療、福祉、教育等の社
会資源をつなぎ、ライフステー
ジや家族構成等も考慮し、一人
一人に寄り添った切れ目のない
支援の提供のお手伝いができる
ようになっております。

問 医療的支援サイト、女性支
援ステーションは。

健康福祉課長 今年度から子育
て世代包括支援センターを設置
して、専門的な医療関係者によ
る相談等ができる環境をととの
えています。

住民税務課長補佐 女性相談機

能強化のためのNPO等との連
携強化を目的とする事業に当た
り、単独での補助は認められて
いない制度でありますので、適
用要件の緩和等引き続き注視して
まいります。

農業の振興策をどう進めるか

佐々木 信幸



町長 農家自身のやる気と学ぶ気
を町が支援します。

米価の暴落に支援策はあるか

問 今年の米価は昨年よりも二千円近い
大幅下落となりコメ農家は打撃を受けて
いる。規模の大きい農家ほど痛手も大き
い。交付金などの支援策を講じる自治体
もあるが、当町の対策は。

産業振興課長 町では主食用米から加工
用米等への転換を促し、水田収益力強化
ビジョンにより、水田での主食用米以外
の農産物の生産に対し産地交付金等の支
援を行っています。また安定経営のため
に、農業共済の収入保険制度を活用して
もらうため保険料の一部を補助する事業
を今年度から開始しました。

問 町内産米の消費拡大のため地産地消
の推進や府中市など関係のある自治体・
団体への売り込みを生産者と一体となっ
て進めるべきでは。

産業振興課長 売り込むには他産地との
優位性を強調する必要があるため、JA
や生産者と協議しながら進めてまいりま
す。

農地コーディネーターの導入を

問 当町でも耕作放棄地が徐々に増えて
いる。一方で新規就農や規模拡大のため
農地を求める専業農家もいるが、条件の
悪い農地はなかなか借り手がない。限
られた農地を有効活用するには、集約化
や隣地の整備（林の伐採等）でより良い
条件に変えていく必要がある。全国的に
はこのような問題に対応するため農地コ
ーディネーターという制度があるが、当

町でも農業をよく知る人に、そういう役
割を公的に担ってもらい農地の流動化を
進めるべきと思うがいかがか。

町長 良い提案をいただいたので前向き
に検討したいと思います。

減反政策の廃止で農業のビジネス化が
加速しました。売れるものを作ることが
求められるなか、農家自身が学び市場で
の競争に向かって欲しい。そういうやる
気を町も支援していきます。これからも
農家の皆さんとの対話を進めてまいりま
す。

循環型農業の推進策は

問 町の総合計画では循環型農業推進の
ために、土づくりの推進・堆肥供給の確
立が挙げられているが現状はどうか、今
後の方向性をどう考えるか。

町長 町では町内畜産農家の厩肥を有効
活用し良質な堆肥を作るため、平成15年
に土づくりセンターを建設しました。現
在酪農家による八千穂有機生産組合が運
営しており、更なる品質向上のための実
態調査を地域おこし協力隊員が進めてい
ます。

問 堆肥にも様々な機能があり農家の二
ーズも多様。土づく
りセンターをモデル
に新たな堆肥センタ
ーを作り、供給する
考えはないか。

産業振興課長 現在
の施設の有効活用が
最良と考えます。



佐久穂町土づくりセンター

道の駅の構想における観光連携を どのように進めるか

須田 芳明



町長 あらゆる情報発信を行う機能
が求められると考えています。

観光政策における今後の方針に ついて

問 アフターコロナを見据え高速道路の
メリットをどのように活かしていくか。

町長 滞在やリピーターしてもらうための
仕組みを佐久穂町だけでなく南佐久、さ
らに佐久地域や隣接する群馬県とも連携
して、中部横断自動車道のメリットを生
かせるように努めてまいります。

問 白駒の池の交通施策の中で非常に厳
しい競争が起きていると思うが。

産業振興課長 年間を通じて多くのお客
様にお越しいただけるよう観光シーズン
につきましては、観光客に向けて八千穂
高原のスキー場から無料のシャトルバス
を出しております。

問 シラカバ資源のPRについて。

町長 シラカバ林の様相は、町内外から
観光客に鑑賞していただく自然豊かな八
千穂高原の資源として期待しているとい
うでございます。

問 シラカバを素材として利用する大規
模な植林をしていく必要があるのでは。

産業振興課長 用材については、林班の
中の白樺林の資源調査を行うとともに、
需要や経費等も考慮しながら検討してい
きたいと思っています。

問 道の駅の構想における観光連携をど
のように進めるか。

総合政策課長 連携に
ついては、道の駅の情
報発信機能をいかし、
その方法を十分検討し



ていかなければならないと考えます。

問 スキー場、キャンプ場の運営と観光
政策をどのように結びつけていくか。

町長 民間企業の考え方や力をどう生か
していくのか。そういったことを推し量
りながら考えていきたいと思います。

農業基盤の強化について

問 フランド化を図る特産品を今後どの
ように維持し、継続していくか。

町長 生産者への支援は重要であると
考えています。

問 フランド化を図るブルーンオートム
キユートなどを安定供給するには。

町長 生産者の皆さんに良質なものを安
定して生産していただけるような体制づ
くりを、ほかのものについても検討して
まいりたいと考えております。

問 生産者との協議は。

産業振興課長 生産者部会の地区の役員
様、県、JA、町で構成したブルーンプ
ランド会議というもので進めております。
今後も生産者と連携を深めながらブラン
ド強化に向けて実施していきたいと思
います。

問 地域農業の発展と組織運営について
JAプロジェクトの花弁振興は。

町長 JAとして、既存事業のさらなる
振興等もありますので、花卉振興を引き
続き考えていきます。

問 農業技術者連絡協議会は政策集団と
思うが。

産業振興課長 主な活動内容は認定農業
者の再認定に関わるものです。

旧佐久西小学校跡地

利用は

高見澤 敏幸

町長 企業誘致の公募をし、方向を出すよう努めます。



(仮称) 佐久穂交番は

問 今後の予定は。また建物外觀等で要望はしているか。

総務課長 令和4年度中に設計、令和5年度に建設着手の予定と聞いています。

町からの要望は、今後の設計建築にかかる協議の中で伝えていきます。町産材の木材等の提供についても県からの要望があ

れば、費用対効果等を協議検討したいと考えております。

問 新交番の人員等運営体制は。

総務課長 開所時間は朝8時30分から翌朝8時30分の24時間となり、職員は所長以下5名体制が想定されます。勤務体制は、当直を交代で行い、365日24時間必ずその日の勤務員が確保されると聞いております。

問 役場入り口交差点、国道への右折レーンの設置は。

総務課長 令和4年度、町道役場入り口線の拡幅改良設計を行い、長野県警察との交差点協議、建設事務所とも協議を行います。それぞれの協議の後、5年度に町道の拡幅改良工事を行う予定です。右折レーンの設置は今後の協議の中で依頼する予定です。

旧佐久西小学校跡地利用は

問 これまでの検討内容は。

町長 平成29年10月まで、この土地は新庁舎建設候補地の1つでした。民間事業募集のために平成30年4月から長野県東京事務所に職員を派遣し、民間企業数社の現地見学等がされましたが、具体化はしませんでした。

その後東日本台風・コロナ禍となり1度も募集をしないまま今日に至っています。

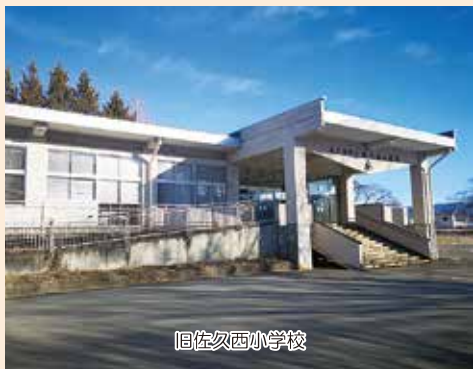
問 年間の維持費は、また現在の防犯対策は。

総務課長 旧校舍棟は警備の関係から通電しており、体育館は災害時の避難場所対応として昨年電気・水道工事を行いました。年間維持経費は電気料・水道料・警備保障料・除草等委託料で約67万3千円です。

防犯対策は、警備保障会社がある際に急行するサービスを導入しています。その他周辺に防犯カメラを設置しています。

問 今後の活用予定は。

町長 役場庁舎新築移転事業がほぼ終了となります。今後は旧佐久西小学校・旧八千穂小学校及び旧八千穂庁舎等の利活用・処分について進めます。旧佐久西小学校は、既存の建物を生かした企業誘致の公募をし8月ごろまでに方向を出すよう努めます。土地利用価値と遺跡調査費



旧佐久西小学校

用、建物の利用価値と解体費用が相反するため慎重に調査検討を行ないながら進める計画です。当町の実施計画では、建物解体・遺跡調査後更地化して公募による企業誘致の検討もされています。数億円になることもあり得る費用が想定されますが、最終的に応募がなければ更地化は避けられないかと考えています。

荒廃農地・遊休農地の現状や推移を

どう受け止めているのか

小宮山 雅則



農業委員長 荒廃農地は増加しています。荒廃農地発生防止、解消に努めます。

荒廃農地・遊休農地について

問 荒廃農地・遊休農地の現状や推移をどう受け止めているのか。

農業委員長 農家数は、2020年の農業センサスにおいて1048戸ですが、5年前より267戸減少しています。

令和2年の荒廃農地は約484ヘクタールで前年より約37ヘクタール増加しており、人口減少、農業者の高齢化や離農等により今後も増加が見込まれています。

町が実施している中山間地域等の直接支払交付金や多面的機能支払交付金、環境保全型農業直接支払交付金で農地の維持、保全がされていますが、農地耕作条件改善事業、農地中間管理機構による農地の集積活用により荒廃地の発生防止、解消を行って行きます。

問 農業委員会として、町に農業政策等の意見を出されたことはあるか。

農業委員長 農業委員会の活動の中に、農地法に基づく農地の権利移動業務、農業者年金の普及推進等ありますが、そのほか農地利用の最適化、効率化や効果的な実施を行うため関係行政機関への農地利用最適化推進策に対する具体的な意見を提出する活動がありますので、今後町の施策



農業委員会委員長答弁

町長 農業の基本構想は、農地の集積を進めながら、生産基盤の整備、生産性の向上、生産振興、環境農業の推進、農産物の安全性確保、ブランドの確立、6次産業の推進、町の特色を生かした多様な農業を目指すなどを目標としています。JAや生産者との情報を共有し、農業の振興を図って参ります。

に繋がる意見の提出を考えて参ります。

農業の現状と政策について

問 町の農業の現状をどう捉えているのか。

町長 当町は豊富な農産物が生産されており、ブランドとして高く評価されています。しかしながら、農家の高齢化や後継者不足により農家が減少しており、これにより遊休農地の増加など生産基盤の脆弱化が進んでいるところです。

新しい担い手の確保に関して、新規就農者の増加に繋がる農業次世代人材投資事業の活用、営農指導体制など就農しやすい環境整備を図って参ります。また、新しく創設された経営承継発展等支援事業を活用して行くことも考えています。

問 農業の基本構想をもってその実現に向け、政策を講じているのか。

町長 農業の基本構想は、農地の集積を進めながら、生産基盤の整備、生産性の向上、生産振興、環境農業の推進、農産物の安全性確保、ブランドの確立、6次産業の推進、町の特色を生かした多様な農業を目指すなどを目標としています。JAや生産者との情報を共有し、農業の振興を図って参ります。

来年度予算の重点施策は

出浦 修身



町長 人づくり・まちづくり・ふるさとづくりそれぞれに重点施策を。

問 コロナ禍等で遅れている「第一次行財政改革大綱」の総括作業はどのように進捗し、いつ頃公表するか。

町長 現在は各課から提出された活動計画書及び特別対策プランの達成状況や成果内容を検証し、総括報告書の作成を進めており、令和4年3月には公表できる予定です。

問 行財政改革の今後の進め方は。

町長 これまで大綱の進捗管理は事務事業シートにより管理しています。現在は職員に行革の精神が醸成されていることを踏まえ、第二次の大綱は作成せず、現在作成中の総合計画後期基本計画に施策を盛り込んでいきます。

問 行財政改革大綱は大きな成果と共に課題もあり、町民との認識の共有を図るため、報告会か説明会が必要では。

総合政策課長 公表を概要版が広報でやるか報告会を開くかを今後検討します。

問 現在作業中の来年度予算編成の重点施策項目は。

町長 まず人づくりでは、子育て世帯の負担軽減と佐久穂小・中学校の教育環境の更なる充実、こどもセンターの長寿命化改修工事を行います。

次にまちづくりでは地域に根差した産業の活性化を図り、持続可能な町づくりとして、(仮称)道の駅「八千穂高原IC」の整備事業、農業用水の管理作業の省力化事業を行います。また、住宅関係の施策も進めます。

ふるさとづくりでは、歴史的景観である奥村土牛記念美術館を存続させ、周辺



旧八千穂中学校

を含めた美しい街並みづくりの推進を予定します。さらに健康管理事業を継続推進してゆきます。

問 道の駅の計画では、町だけでなく佐久地域全体から人の集まる拠点とするため、また農産物直売所等においては町の農業者や加工業者等が参画できるようにするためには、相当の準備期間やしっかりした取り組みと予算処置が必要では。

総合政策課長 現在サウンディング調査を行っており、これから募集要項等を決めるところです。しっかり事業計画を立て、予算等も検討して参ります。

問 健康管理事業で保健推進員の皆さんを通じての公衆衛生事業の推進は。

健康福祉課長 コロナ禍で活動が停滞しましたが、以前の活動を再開するところから取り組んでいくよう努力します。

議会改革特別委員会報告 その3

【前回までの動き】

改革課題候補 18項目の中から短期的取り組み課題3件、中・長期的取り組み課題 3件を決定。この課題ごとの検討チームを結成し、改革課題の検討方針を定めることとしました。

【第4回 特別委員会全体会の開催（R3.10.8）】

検討チームの編成を行いました（◎…チームリーダー ○…サブリーダー）

◆短期的取り組み課題（R3年～R4年度）

1. 町民との関り ⇒ Aチーム

（メンバー）◎須田芳明 ○岡部尚樹 佐々木信幸 西部元和 出浦修身

2. 情報公開・広報活動 ⇒ Bチーム

（メンバー）◎竹内達朗 ○高見澤利博 島崎規子 小宮山雅則

3. 議会の災害対応改善 ⇒ Cチーム

（メンバー）◎高見澤春野 ○高見澤敏幸 石井正行 高橋康徳

◆中・長期的取り組み課題（R3年～R5年度）

4. 議員定数の見直し ⇒ Dチーム

（メンバー）◎島崎規子 ○高見澤敏幸
岡部尚樹 竹内達朗 出浦修身

5. 議員報酬の見直し ⇒ Eチーム

（メンバー）◎佐々木信幸 ○小宮山雅則
高見澤利博 石井正行

6. 議会のICT化推進 ⇒ Fチーム

（メンバー）◎西部元和 ○須田芳明 高橋康徳 高見澤春野



議会改革特別委員会

【第5回（R3.11.9）・第6回（R3.12.20） 特別委員会全体会の開催】

第4回以降の各チームの検討内容等を報告

Aチーム（町民との関り）

●10/21・11/19・12/17にチーム会議を開催

「取り組みの方向性」・・・町民交流会、町民との意見交換会、議会報告会の企画実施により、住民と議会の距離を縮め、住民に開かれた議会の実現。

①住民との意見交換会の開催

・試験的に10/18に実施済み…本紙最終ページに「お邪魔します。お出かけ議会です。」にて詳細を掲載しています。

・試験的開催を定期的に実施。総括結果に基づき次年度方針を決定

②議会報告会の企画

・令和4年5月中旬頃に実施を計画。

③町民との関りチームの名称を「町民交流推進チーム」とした。

Bチーム（情報公開・広報活動）

●10/21・11/19にチーム会議を開催

「取り組みの方向性」・・・中継・ライブ配信、傍聴、広報誌等について検討を重ねます。

①中継・ライブ配信について

・現在ライブ配信及びサテライト中継を行っているが、議場全体をカバーできることが望ましいとの見解から、予算要望も含めて検討し環境整備を目指す。

②傍聴について

・傍聴規定を検証し、傍聴しやすい環境の整備を進める。

③広報誌について

・基本的には広報委員会の事項であるが、Bチームとしての検討も行う。広報誌で提供しきれない内容等の補完方法等の検討。

Cチーム（議会の災害対応改善）

●10/21・11/19にチーム会議を開催

「取り組みの方向性」・・・議会基本条例の災害対応条文の見直し。議会としての業務継続計画（BCP）を作成。議会としての災害時行動マニュアルの作成。

①災害時における議員・議会としての役割を明確化

・今後の具体的な動きとスケジュールの確認作業を行う。

Dチーム（議員定数の見直し）

●10/21・11/9・11/19・11/24にチーム会議を開催

「取り組みの方向性」・・・議員の適正定数を導き出すために、過去の審議・討論の経緯の調査。住民アンケート結果の再検証。総務省ガイドラインの検証。県内同規模町村への定数に関する調査の実施。

①県内同規模町村への定数に関する調査の実施

・平成21年以降議員定数を変更した町村と変更しなかった町村、それぞれ7町村を選び、12から13項目につき調査を実施する。（11月下旬発送）

②過去の経緯資料・住民アンケート結果等の念入りな検証と検討を行う。

Eチーム（議員報酬の見直し）

●10/21・11/19にチーム会議を開催

「取り組みの方向性」・・・議員のなり手不足解消と、町民の皆さんに議会への関心を高めってもらうにはどうするかを報酬面から考える。議員活動に対する適正な報酬の設定と、さらにそれを上回る議員活動をするために、個々の議員力を高める取り組みを進める。

①議員活動を客観的に評価するための算定基準作りを、全国の先進事例に学びながら進める。活動日数や内容を数値化・見える化し理解を深めてもらう。

②全国・県内他自治体の事例を調査し比較・研究を進める。

③議員の質の向上を図る取り組みの進め方を検討し提言する。



チーム会議

Fチーム（議会のICT化推進）

●10/21・11/19にチーム会議を開催

「取り組みの方向性」・・・ペーパーレス化の推奨。タブレットの利用。オンライン会議の実施。情報発信のICT利用等の推進。

①ペーパーレス化の推奨

・議員に委員会などにおいてタブレット使用を推奨する。
・補足説明のPDF化の試行の実施。

②タブレットアプリの利用促進

・タブレットでの使用サービスをTeamsに統一し、スマートフォンへのインストールを推奨する。
・カレンダー機能の使い方等の研修を行う。

③オンライン会議の実施

・タブレット研修を兼ねて定期的なオンライン会議を視察研修特別委員会に企画運営をしてもらう。

■ 経済福祉 常任委員会

12月定例会の本委員会では、所管する健康福祉課、産業振興課、建設課、千曲病院に係る、令和3年度の補正予算案3件と条例改正案1件、町道路線の廃止について、町道路線の認定について、議案慎重審議の結果、各案件とも、原案通り、可決すべきものと決しました。
陳情一件は慎重審議の結果、賛成者なしで不採択となりました。

建設課

令和3年度一般会計補正予算1件の審査を行いました。それと共に、町道路線の廃止について、町道路線の認定について、審議いたしました。

問 大日向川原地区の辺地対策事業が一般事業に組み換えをした訳はなぜか。

答 当初予算の時は、下川原地区が辺地地域であることから申請をしましたが、総務省から起債対象とならないとの通知があり、組み換えしました。

問 支障木の伐採について、伐採の基準的なものはあるのか。

答 正式な基準的なものはありませんが、道路管理者として、通行に障害があるかどうかという観点で、判断をしております。

問 町道路線の廃止と認定についての概要は。

答 中部横断道の建設により、分断された町道を一旦廃止にしまして、分断された部分の前後を、新たに認定することです。また、トンネルなどでつながっている道路もあれば、分断された道路もありますが、国の方で交通量、地域状況など考慮して工事方法を決めています。

産業振興課

問 八千穂高原駒出池キャンプ場の施設利用料が大幅な値上げになっていますが、近隣のキャンプ場との比較はしたのですか、この料金でやっていけると判断したのか。

答 条例では料金の「上限設定をするものであり」、キャンプ場施設利用料の具体的料金は、指定管理者のアドバンス（株）がこの範囲内で設定を行います。またWi-Fi、テレワークなど対応ができるよう、充実も図る予定であります。最近では、非常に人気が高いとのことで、駒出池キャンプ場独自の料金設定をアドバンス（株）が進めています。



駒出池キャンプ場

問 町民向けの割引等はあるか。

答 現時点ではありません、佐久穂町応援チケットがスキー場や施設で利用できます。

健康福祉課

問 新型コロナワクチン接種1回、2回分の予算計上が大幅減になっていますが、接種率は約何%ですか、また、未接種者への接種の対応は。

答 町民対象者の約90%が完了しております。基本は任意接種ですが、未接種者は千曲病院で接種が可能となっています。なお、3回目の接種を希望される場合は、国の定めにより、2回目の接種を1月末までに完了する必要があります。

問 介護保険の補正予算で、居宅介護サービス事業費が実績により減額補正となったが、施設介護サービス事業費は。

答 施設介護サービスは増加気味ですが、概ね予算内で対応できる見込みです。

千曲病院

問 10月から非常勤小児科医の増員、3月から非常勤整形外科医の増員、1月から内科医の派遣での勤務曜日増となるが、医業収入を計上せず、医業費用のみの計上とした理由は。

答 本来は医業収入に計上すべきですが、当初収入計画に対し、約2000万円の未達があり、病院自体の機能の問題、人口減少等に伴う入院患者数の減、診療報酬単価の増等が見込めないことから、当初収入計画に達する見込みが立たないので医業収入の増収を計上せず、医業費用のみの計上となりました。現在数年計画で将来像を模索し始めたところです。

問 増員医師の勤務予定は。

答 小児科医は1月から水曜日の午後3時15分～5時15分まで、内科医は現在の木曜日に加え火曜日の勤務が増え、整形外科医は木曜日が手術日、金曜日と第1・3・5の土曜日の勤務予定となります。

委員会活動から ～委員会審査～

■ 総務文教 常任委員会

議案5件 陳情1件が付託され 議案5件については可決すべきものと決しましたが、陳情1件についてはさらなる検討が必要ということで継続審議となりました。

生涯学習課

・議案73号
佐久穂町ふるさと遺産収蔵館条例の制定について

問 条例制定後 どのように運用していくのか。

答 学習の場として提供しつつ、公開してきた経緯を踏まえ、子ども対象、一般公開等を定着させるようにしたいと考えています。

問 中学校跡地を使用しますが、南側の校舎も含めてか。

答 まだ町内に分散して保管している文化財が6万点余りありますので、現存の収蔵館ではスペースが足りず隣接する南側も使用することが考えられます。

・議案第77号

令和3年度 佐久穂町一般会計補正予算

（歳入歳出に9819万円を追加するものです。）

こども課

・備品購入費	172万円	減額
スクールバス・電子黒板購入	入札差金	
・扶助費	186万円	減額
	民間福祉施設時間外保育減による	
・負担金	675万円	増額
	子供のための教育保育給付費	
・消耗品	108万円	減額
	タッチペン・フィルム等入札差金	
・会計年度任用職員の報酬	230万円	増額

問 保育士2名の増員で報酬の増額が今回計上されているが新規に入園児があったのか。

答 保育状況の変化により加配保育士が必要になりました。

総務課

・八千穂庁舎不動産鑑定	583万円	増額
・町営住宅管理一般経費	123万円	増額
・街灯管理経費	1061万円	増額

問 街灯LEDユニットの単価と購入台数は。

答 1～2万円で175セット予定しています。

問 街灯修繕費の内訳は。

答 一カ所3、5万円で月に約60カ所の交換を行います。期間は3、5か月です。

問 LED電球の寿命は。

答 カタログによると4万時間とあります。5年経過で4万3千時間となりますので、平成27年に取付けた場所から電球交換の時期が到来しています。



LED 街灯

総合政策課

・PC購入費	368万円	減額
	基幹系PC入札差金	
・企画財政一般委託料	550万円	増額
	ランドデザイン作成	
・道の駅整備事業	185万円	増額
	かわまちづくり計画策定	

問 ランドデザインの作成とは。

答 包括連携協定を締結した（株）モンベルの7つの連携項目や情報発信の「フレンドエリア」に登録する為に佐久穂町の観光・あらゆる資源調査を行い、図案や設計図等を作成するものです。

問 かわまちづくり計画とは。

答 計画を策定し認められれば河川整備に関する支援制度が受けられます。道の駅南側の河川だけではなくその周辺も含め、統合河川環境整備事業費などを利用して整備できるようにするための計画です。

お邪魔します。

【お出かけ議会】です。

がんばる
さくほの
チヨ一民



議会改革特別委員会に組織された町民交流推進チームが、議会改革の一つである「町民の皆さんとの交流」を深めるため、まずは試験的に交流会を行うということで、民生委員OBの皆さんを中心に組織された任意団体「れい輪の会」サロンにお邪魔しました。



れい輪の会 活動視察・意見交換会



サロンでは、ストレッチ
体操やりまーす!! との掛け声に合
せ参加するも、日ごろの運動不足がたり、
体のあちこちがギシギシ…。
心地よさもありましたが、体は正直。
情けないかぎりです。トホホ…

れい輪の会は

居場所づくりのためのサロンで、

- ①地域のリーダーの育成をする
- ②健康を増進し長寿をめざす
- ③情報交換の場所をつくる
- ④地域コミュニティの役割をもつ

を目的に活動しているそうです。

毎月の楽しいサロンなどへの参加は自由とのことでした。

皆さんもお気軽に参加してみてはいかがでしょうか。

れい輪の会の皆さんの活動に敬意を表し活動報告といたします。

本当にありがとうございました。

町民交流推進チームリーダー 須田芳明

議会ライブ中継

本会議場傍聴に加え、役場1Fと3Fロビーにおいてライブ中継。茂来館エントランスホールでもサテライト中継を予定していますので、是非視聴にお越しください。

新型コロナウイルスに翻弄され早2年が過ぎようとしています。様々なところで制限されてきた活動も徐々に緩和され再開されつつある中で、再び拡大を始めた感染症。第6波に加え今度は感染力の非常に強い「オミクロン株」の流行で、不安な日々は今後も続きそうです。このような中において今後は、感染予防対策をしっかりとし、少しでも活動を継続させる努力が求められます。

当議会においても、町民の皆様との意見交換会等の交流を無理のない範囲で推進をしたいと考えております。「自分たちのグループにもぜひ参加して!」という皆さんはお気軽に議会事務局にお問い合わせください。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

広報編集調査特別委員会
島崎 規子

◆編集後記◆

次回3月定例会は、3月3日(木)より17日(木)までを予定しています。